

民生常任委員会

委員長 安本 貞敏
副委員長 魚原 満晴
委員 平野 和生
荒川 政義
平村 真成
魚谷 洋一
松井 岑雄
廣田 清晴

本委員会は、3月14日に開催し、付託議案6件について、いずれも可決すべきものと決定。

その主なものについて報告します。

敬老補助金については、75歳以上について一人あたり800円。敬老金は、90歳以上3千円、100歳以上1万円の商品券を支給。

公立保育所の延長保育はしない。

「潮風の湯」のプールで、健康教室を実施。

遠隔医療については、継続を検討する。

健康まつりは、大島地区での実施予定。

老人医療の伸びは、医療給付費は、49億2千万円で、0.9%の増、医療支給費は、1億80万円で、125.2%の増。

介護保険の階層別人数と保険料

階 層	人 数	保険料(円)	%
第一段階	122	1,590	1
第二段階	5,898	2,385	60
第三段階	2,196	3,180	22
第四段階	1,045	3,975	11
第五段階	614	4,770	6

介護給付費準備基金残高：92,085千円

病院バスについては、町内に6台あり、費用について、燃料代は1台につき、年間20万～30万円。及び車検代と保険料。

後発の医薬品の使用については、1%未満。

大島看護専門学校の生徒については、100名の卒業生のうち、22名が町内に就職。

また、総括質問で、各事業の見直しをし、効率、効果の向上を図ってほしいとの要望があり。

建設環境常任委員会

委員長 伊東 梅芳
副委員長 田中 隆太郎
委員 杉山 藤雄
神岡 光人
田村 三郎
武政 輝夫
富田 安英
小田 貞利

本委員会は、3月15日に開催し、付託議案5件について、いずれも可決すべきものと決定。

その主なものについて報告します。

上水道関係では、平成17年度より水道料が上がるのではないかと問いにに対し、旧町各2名からなる給水単価検討委員会を設置し、協議していくとの回答。又一日当りの責任水量に対し、1/3の未使用分に対し委員より有効活用するよう提言あり。又漏水対策も万全にするよう求めた。下水道関係では、浄化槽設置補助金の問いにに対し、年度末までに工事完成のものに対し、70余基の予算措置をしているとの回答。農業集落排水事業としては、本年度から秋地区の整備に着手する。環境施設関係では、じん芥処理施設の老朽化に伴い、早期に解体工事をするとの説明。又リサイクル施設を伴う最終処分場を橘地区に予定しているとの説明をうけ、その能力に疑問視する声もあったが、しっかりした収集計画を立ててやっていきたいとの回答。

生活衛生関係で、旧大島地区の斎場建設についての進捗状況については、平成17年、18年度で進めていく。

農林業関係では、工事請負費について詳細な資料提出を求めた。水産業関係では、漁港災害復旧に対応する課は水産課。総合支所の各百万の予算は早い者順で、予算不足になるのではとの問いに、緊急度の高いものから対応し、必要に応じ補正をお願いしていくとの答え。

商工観光関係では、町内イベント予算が削減されているが、なぜかという問いに、財政状況を考慮に入れて削減になったとの答え。

建設関係では、町道の管理を農家に委託したらとの問いに、従来どおりにやっていきたいとの答え。



整備のすすむ棕野漁港